

多数の地球観測衛星を用いた 被災状況早期把握技術の開発

田口仁

国立研究開発法人防災科学技術研究所 防災情報研究部門
tagchan@bosai.go.jp

従来から、地球観測衛星は被害状況を広域に把握する手段として注目されてきた。ここ最近では、衛星は小型化し、さらに民間宇宙利用も進んでおり、多数の衛星が打ち上げられつつある。そのような状況から、発災後数時間以内という早期の被災状況把握を実現するための研究開発を、内閣府が主導した研究プロジェクトで実施したのでその概要を報告する。具体的には、多数の衛星観測リソースの活用に向けた4つのステップを考案し、それを実現するための技術開発として、衛星ワンストップシステムという情報システムを開発し、実災害への適用・実践を行った。

キーワード：地球観測衛星 被害把握 災害情報